



みつくura



《 北米産大豆 》

15/16年 世界及び米国大豆生産予測・需給予測

米国農務省が8月12日発表した、15/16年度の世界大豆生産・需給予測によれば、生産量は前回比1.1%増の3億2,005万トンとなった一方で、期初在庫は下方修正、需要も上方修正となったことで、期末在庫は先月比4.9%減の8,688万トンとなりました。

また、同日発表された米国大豆生産・需給予測によると、作付・収穫面積が前回から減少したものの、単収の大幅な上方修正により生産量は前回比0.9%増となりました。需要予測は、米国内の搾油需要が前回よりやや上方修正された一方、輸出量が減少したことを受けて、在庫率が前回比1.3%増の12.6%と上方修正されています。

15/16年産 世界大豆生産・需給予測

| | | | |
|-------|-----------|--------|-----------|
| 生産量 | 3億2,005万t | (対前年比 | 0.2%増) |
| 消費量 | 3億0,986万t | (対前年比 | 4.4%増) |
| 期末在庫量 | 8,688万t | (対前年比 | 7.8%増) |
| 期末在庫率 | 28.0% | (対前年度差 | 0.9ポイント増) |

15/16年産 米国大豆生産・需給予測

| | | | |
|-------|-----------|--------|-----------|
| 生産量 | 1億0,659万t | (対前年比 | 1.3%減) |
| 消費量 | 5,421万t | (対前年比 | 1.7%減) |
| 輸出量 | 4,695万t | (対前年比 | 5.5%減) |
| 期末在庫量 | 1,278万t | (対前年比 | 95.7%増) |
| 期末在庫率 | 12.6% | (対前年度差 | 6.4ポイント増) |



○15年産米国大豆生育情報

米農務省が8月3日に発表した8月2日現在の米国大豆の開花率は主要18州平均で、81%（前週 71%、**前年 84%**、**平年 83%**）となっており、平年を2ポイント下回って推移しています。ミネソタでは平年を11ポイント上回り推移していますが、ミズーリでは平年を22ポイント下回り、カンザスでも10ポイントの遅れがあります。

同日現在の着サヤ率は主要18州平均で54%（前週 34%、**前年 54%**、**平年 49%**）と平年を5ポイント上回り推移しています。ミネソタで平年を29ポイント上回っている他、ノースダコタで13ポイント、サウスダコタで12ポイントと好調の一方、ミズーリでは20%と平年を9ポイント下回っています。

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



また、同日発表された8月2日現在の米国大豆作柄状況は、主要18州平均で普通26%（前週 27%、前年 23%）、良好50%（前週 49%、前年 55%）、優良13%（前週 13%、前年 16%）で、優・良合せて63%となっており、前週を1ポイント上回っているものの、前年を8ポイント下回っています。

《 国産大豆 》

○平成26年産国産大豆入札情報

平成26年産国産大豆の7月の入札結果が、日本特産農産物協会から発表されました。それによると、上場数6,804トンで、落札が6,557トン、落札率が96%という結果となりました。6月と比較すると、平均落札価格は、60kg/1,593円下落しました。

普通大豆の銘柄別では、高値を続けていた九州産フクユタカで60kg/約4,000円と大きく値下がりしています。結果として、九州産や東海産のフクユタカは値下がりを見せましたが、北海道や東北、日本海産はあまり下がりきらず、最後まで相場は高値が続きました。

| 入札月 | 上場数量 | 落札数量 | 落札率 |
|--------|----------|----------|-------|
| 14年11月 | 1,708 t | 1,708 t | 100% |
| 12月 | 3,347 t | 3,308 t | 99% |
| 15年 1月 | 8,551 t | 8,056 t | 94% |
| 2月 | 8,409 t | 8,041 t | 96% |
| 3月 | 8,124 t | 7,590 t | 93% |
| 4月 | 7,073 t | 6,887 t | 97% |
| 5月 | 8,119 t | 7,902 t | 97% |
| 6月 | 7,282 t | 7,161 t | 98% |
| 7月 | 6,804 t | 6,557 t | 96% |
| 合計 | 59,418 t | 57,210 t | 96.2% |

○27年産大豆生産計画、作付6%増・集荷7%増を見込む

J A全農と全集連はこのほど、平成27年産大豆の生産計画と集荷見通しを発表しました。それによれば、J A全農・全集連を合わせた27年産大豆の作付面積は、前年比6.1%増の11万6,023haと拡大見通しにあり、これに平均単収をあてはめた集荷予定数量は7.0%増の19万4,930tに達する見込みとなっています。

地域別では、北海道で2ケタの作付増加を見込んでいる他、秋田、宮城、栃木といった東北・北関東や滋賀、福岡などで作付が増加する見通しとなっています。飼料用米との競合の中で、生産者の大豆生産への意欲の高まりが伺えます。

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>